

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・江川・菅野・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		10	6		16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	5		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	12	3		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	6		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人ご家族から得た情報が伝達できているため、必要としている支援を提供できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 情報伝達はされているが、個々により捉え方が違い、統一したケアが提供されていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 現在使っている連絡ノート・伝達方式・ADL カードの早期見直し、修正をかけ発信し、ご家族から得た情報も含めて職種間で意見交換を実施、ケアの統一を図る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 31 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8	7		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	7		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	7		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	7	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランに沿って日常の中でリハビリ等の手伝いができており、関わった中での情報や意見交換ができており会議での話し合いをもっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々プランが変化していく方などもおり、会議にて話し合いは持っているが職員全体へ時間を要してしまい次の対応には活かしていない。本人の希望よりもご家族の希望が優先されてしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
介護計画・連絡ノート・回覧ファイルに必ず目を通し情報を把握する。その日のご利用者さんの情報や状態は状況記録用紙にすぐに記入し他の職員に伝わるように昼食時の回覧し周知する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 31 日 (18 : 30～19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	11	2	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	13			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	7		15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		13	2		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		13	2		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
理由者さんの日々の訴えや体調変化に気づいており、情報の共有や相談・対応ができている。記録に残し情報共有に努めている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方は深くは理解できていない、理解しようとしているが以前よりも現在の環境の把握に重点をおいてしまっている。本人よりも家族の訴えに重点をおいてしまい本人の声にならない声に対してより一層寄り添う必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
送迎や通い・訪問など場面、場面で知り得た情報をケース記録(本人の言葉・客観的・主観的を取り入れ)に記録してケース会議で話し合い、情報を得て以前の生活を知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 26 日 (12:00~13:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		12	3		15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		10	5		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	12	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			14	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地元地域のイベント等に参加しています。他にも買い物・美容など馴染みのあるお店に行くなどご本人の希望を取り入れて支援している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人を知る人との接触する機会が少ない。生活スタイル・人間関係等の理解ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域行事に積極的に参加して地域資源を開拓していく
---------------	---------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 26 日 (12 : 00 ~ 13 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	4	4	3	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		15			15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		15			15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		15			15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者さん個々に応じて「通い」「泊まり」「訪問」が適切に提供されており日々の関わりや記録からもご本人の「変化」に気づきミーティング等で共有することができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の記録からご本人の変化など情報は発信されているが情報を全て把握できていない。地域資源の把握しきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
多量な情報の整理をおこない、話し合っ適切な情報に整理することにより、情報の把握につなげる。ご利用者さんの荷物等を全体で把握して申し送りの伝達をしっかりとこなう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 30 日 (12 : 00 ~ 13 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木
[看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	8	5	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	4	7	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	6	5	2	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	8	5		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 施設の夏まつり・施設の餅つき・小学校のイベントや中学校のイベント参加など地域交流をおこなっている また、施設の地域交流室等を地域のサークルなどに開放して交流が持っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他事業所の方がと合う機会はあるが、サービス機関や地域包括支援センターとの会議等は管理者や計画作成 担当者が参加することのみとどまっており、介護職員の業務調整が難しく、参加の機会も少ない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 参加者は情報発信をきっちり行い、職員は情報共有を図る。参加者が一定の職員に偏らないような参加の調整をおこなう。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 30 日 (12:00~13:00)

7. 運営

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・鈴木
[看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	8	5	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	5		15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	6		15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	7	3	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や苦情等は速やかに計画作成担当者・上司等に報告し、ご意見シート等作成をおこない会議の場で検討してマニュアル・対応方法の変更・周知等の実施を行い柔軟に対応している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域への取り組みは勉強不足の点もあり、積極的に地域と協働した取り組みが行えていない部分もあり、地域の方からの意見や苦情を把握できていない面もあり、事業所の在り方について再度考えていく必要がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 報告は客観的に伝え、主観的意見を伝える時は必ず「私は」とつけ話すようにすることで、お互いの気持ちや意見も「伝える」「聞いてもらう」という体制を構築する。 地域で必要とされる拠点となるために、夏まつりやお餅つきなど地域の方々に引き続き参加していただきこの施設をもっと広域にさせていただくようにする。また、私達も地域行事などに積極的に参加し私達ももっと地域を理解するように心がける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 28 日 (12 : 00 ~ 13 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・山本・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	10		4	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	4	3	16
③	地域連絡会に参加していますか	2		5	9	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	8	2	3	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修参加も希望すれば時間を作ってもらえ研修内容も参加者から会議で報告受け共有を図っている。リスクの検討もヒヤリはっと等を利用して検討して取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
業務体制上時間がつくりにくく研修に参加する職員に偏りがあり、多くの人が参加できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
インシデントなど上がってきた報告について原因要因に目を向け、回避に向けた話し合いにしていく。知識や体験として必要と思う研修会に個々でも目を向け参加していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 28 日 (12 : 00 ~ 13 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 日高・大竹・花島・吉村・上園・布施・諏訪・三森・奥村・菊池・白土・河野・斎藤・田村・山本・鈴木 [看護師]

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	4	1		16
②	虐待は行われていない	12	4			16
③	プライバシーが守られている	8	7	1		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	10		3	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	8	1		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
縛る・車椅子にずっと座らせるなどの身体拘束や虐待はみられない。プライバシーについてもトイレや入浴の場面で同性介助をおこなうなど配慮している。身体拘束・虐待についての必要な研修を実施している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度については必要と思われる方には提案しているが本人の意向等もあり全てに活用が出来ていない。 身体拘束や虐待・プライバシー保護について実践部分の共通理解ができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
プライバシー・個人情報・身体拘束・虐待について実践的な部分を明確にし、共通認識を図るより明確なマニュアルの作成及び研修の実施	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川 恵美子
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	日高 和枝

法人・事業所の特徴	社会福祉法人翠耀会は3つの理念「お年寄りの笑顔を大切に」2、「地域福祉のハイオニアたれ」3、「学ぶ姿勢を大切に」に基づき、その日その人に合わせ、活性化とメリハリをつけた多彩なプログラム（野菜畑、季節ごとの行事・外出、近隣の小・中学校との交流等）を実施し地域に密着した生活の支援を行なっています。ご利用者の方が「住み慣れた地域で暮らし続けること」の微力ながらもお手伝いができればと思っています。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			自己評価職員参加は1/3以上なのか？誰が正職なのか、非常勤なのかかわからない。プロセスが見えない⇒わかるように⇒具体的に明示が必要では？	事業計画をホームページに掲示するとともに運営推進会議においてサービス評価の状況等を説明していく
B. 事業所のしつらえ・環境			たまたに事務所が無人になる事があり、近くに居るのはわかるのですが少し無防備な感じがします。防犯を兼ねて人手をかけずに「センサー」等の設置を検討してはどうか？	事務所内の職員同士による声掛け等をおこないなるべく日中は事務所が無人の状態にしていくと共に事務所職員の増員をしていく
C. 事業所と地域のかかわり			小規模多機能をもつと地域の方に知ってもらい特に若い20代・30代に周知し、地域で支える介護を発信できるかと未来が明るいですが？	地域の文化センターや地域包括支援センターの協力を仰ぎ、広報紙等を置いていただく又社会福祉協議会の支会への参加の実施
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			施設に閉じ込めることなくサービス提供されていると思います。自治会・民生委員の話し合いに事業者も参加していくことも検討しては？	認知症の方々も地域で生活していけるようにその方のいる自治会や民生委員等との話し合いの機会を持つていく
E. 運営推進会議を活かした取り組み			地域社会で（具体的な）こんな対応や見守りがあるといった、グリーンヒル八千代台からの意見があってもいいと考えています。こういう取り組みがあると助かる。「具体的に」	困っていることなど地域で一緒に取り組んで欲しい事を具体的に自治会や運営推進会議で提案していく
F. 事業所の防災・災害対策			防災訓練に声かけや案内を頂ければ参加していきたい。その際は何を想定しての訓練が知りたい。発災後、福祉避難所として機能を有せるのか、不足するとなればそれは何になるのでしょうか	地域の方々へ声かけをおこなって9/1の施設防災訓練計画・目的等の共有をして協力を仰ぐ。また、福祉避難所の受託を受けていく